

VI 校内におけるSSHの組織的推進体制

1 SSH推進に関わる部署等の学校組織上の位置づけ

本校では、SSH事業のプログラム内容の実施・運営を行うSSH事業部を校内分掌の1つとして位置づけ、また校内全体で本事業を推進していくためにSSH推進委員会を定期的に行っている。

(1) SSH推進委員会

内容…本校におけるSSH事業の運営に関し、その全体計画立案、各教育プログラムの進捗管理並びに事業全体および各教育プログラムの評価等について審議する。

構成…教頭、教務部長、進路指導部長、理数科主任、数学科代表、理科代表、英語科代表、SSH事業部員で構成する。この内、教頭が委員長となり、SSH事業部員が事務局となる（この内、SSH事業部長が事務局長となる。）。

(2) SSH事業部

内容…本校におけるSSH事業の運営に関し、全体計画立案、各教育プログラムの実施案、並びに全体および各教育プログラムの評価案を作成し、SSH推進委員会に提案する。また、SSH推進委員会で決定した内容の実施・運営を行う。毎週、各事業の各担当者が企画の提案、進捗状況を説明する部会を行う。

2 教職員に対する取り組み

本校では、教職員一丸となって本事業に当たるために全教職員が何らかの形でこの事業に携わるようにしている。そのためにも全教職員の共通理解が重要であると考え、下記のような取り組みを教職員に対して行っている。

- (1) 説明会 …毎年4月第2回職員会議で本事業に対する目的、取り組みを全教職員に対してSSH事業部から説明を行い、共通理解を図る。
- (2) 打合せ会…各プログラム実施前に担当教員による打ち合わせ会を実施。各プログラムは事業部の担当者が主となり、各分掌・学年部・教科で企画・運営を行う。
- (3) 事業報告…職員会議で定期的開催。各プログラム実施後に事業内容・アンケート結果、事業評価を報告し、速やかにフィードバックを行い、継続的な共通理解を図る。

3 成果

本校は学年会や分掌・教科単位で各々のSSH事業の企画・運営に参加している。特に学年会・分掌単位では各教職員が毎年異なるSSH事業に関わることができ、SSH事業全体を見通した考え方ができるようになってきた。また事業後の生徒・教職員のアンケート結果を職員会で報告・議論することにより、速やかに次年度の事業の改善にフィードバックすることができている。また校内組織についても分掌の縦割りではなく、いくつかの分掌が連携をとりながらあたる取り組みを行っている。このようなことからSSH事業に対して教職員が一丸となって取り組める環境ができている。

VII 研究開発実施上の課題及び今後の研究開発の方向・成果の普及

1 評価方法の改正・構築

仮説→検証の流れをもって評価にあたり、プログラムごとの評価を密にした。アンケート項目の見直し、評価基準の設定を行うなど各プログラムに即した形で誰もが同じ観点で評価できるように改善を試みた。ただ、試験などの数値を基にした評価を取り入れがまだ不十分であるので、評価方法の開発に特に力を入れていきたい。

2 「課題研究」における研究内容、研究方法の質の向上

今年度は生徒に対する研修だけでなく、課題研究担当教員に対する研修も増やした。その成果はスムーズな課題研究テーマ設定や継続研究のグループが出てきたことにつながった。そのため実際に実験・検証・考察を行う時間が前年度より増え、内容の向上につながった。またそれは各種大会での入賞、口頭発表などの外部への発信にもつながっている。今年度は生徒対象のマニュアルを完成させた。さらに、教員対象のマニュアルの冊子化を完成させ、それを基にした、よりスムーズな課題研究を進めていきたい。

3 全職員がさらに一丸となって行うSSH事業の推進

各プログラム終了後に成果報告を行い、教員研修を増やすことで教員間の理解を深めた。SSH事業部以外の教員からの意見もプログラム開発に取り入れ、質の高いプログラムを行うことができた。今後は各分掌との連携をさらに深め、第4期SSH事業申請に向けて全教職員でプログラム開発などにも学校全体で取り組むSSH事業を展開していきたい。

平成29年度普通科入学生

| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年別単位数 | | | 単位集合計 | 備考 |
|------|--------|-----|--------|----|-----|-------|----|
| | | | I | II | III | | |
| 国語 | 国語総合 | 1 | 1 | | | 1 | |
| | 国語A | 2 | | | 2 | | |
| | 国語B | 2 | | | 2 | | |
| | 現代文A | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 現代文B | 2 | | 2 | 2 | | |
| 歴史 | 歴史A | 2 | | | 2 | | |
| | 歴史B | 2 | | | 2 | | |
| | 現代史A | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 現代史B | 2 | | 2 | 2 | | |
| | 現代社会 | 2 | 2 | | 2 | | |
| 数学 | 数学総合 | 1 | | | 1 | | |
| | 数学A | 2 | | | 2 | | |
| | 数学B | 2 | | | 2 | | |
| | 数学Ⅰ | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 数学Ⅱ | 2 | | 2 | 2 | | |
| 理科 | 物理基礎 | 2 | | | 2 | | |
| | 化学基礎 | 2 | | | 2 | | |
| | 生物基礎 | 2 | | | 2 | | |
| | 理科総合A | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 理科総合B | 2 | | 2 | 2 | | |
| 芸術 | 音楽 | 2 | | | 2 | | |
| | 美術 | 2 | | | 2 | | |
| | 体育 | 2 | | | 2 | | |
| | 家庭科 | 2 | | | 2 | | |
| | 外国語 | 2 | | | 2 | | |
| 総合 | 総合A | 2 | | | 2 | | |
| | 総合B | 2 | | | 2 | | |
| | 総合C | 2 | | | 2 | | |
| | 総合D | 2 | | | 2 | | |
| | 総合E | 2 | | | 2 | | |
| 学校定数 | 学年別単位数 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 単位集合計 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 学年別単位数 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 単位集合計 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 学年別単位数 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |

平成29年度普通科入学生

| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年別単位数 | | | 単位集合計 | 備考 |
|------|--------|-----|--------|----|-----|-------|----|
| | | | I | II | III | | |
| 国語 | 国語総合 | 1 | 1 | | | 1 | |
| | 国語A | 2 | | | 2 | | |
| | 国語B | 2 | | | 2 | | |
| | 現代文A | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 現代文B | 2 | | 2 | 2 | | |
| 歴史 | 歴史A | 2 | | | 2 | | |
| | 歴史B | 2 | | | 2 | | |
| | 現代史A | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 現代史B | 2 | | 2 | 2 | | |
| | 現代社会 | 2 | 2 | | 2 | | |
| 数学 | 数学総合 | 1 | | | 1 | | |
| | 数学A | 2 | | | 2 | | |
| | 数学B | 2 | | | 2 | | |
| | 数学Ⅰ | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 数学Ⅱ | 2 | | 2 | 2 | | |
| 理科 | 物理基礎 | 2 | | | 2 | | |
| | 化学基礎 | 2 | | | 2 | | |
| | 生物基礎 | 2 | | | 2 | | |
| | 理科総合A | 2 | 2 | | 2 | | |
| | 理科総合B | 2 | | 2 | 2 | | |
| 芸術 | 音楽 | 2 | | | 2 | | |
| | 美術 | 2 | | | 2 | | |
| | 体育 | 2 | | | 2 | | |
| | 家庭科 | 2 | | | 2 | | |
| | 外国語 | 2 | | | 2 | | |
| 総合 | 総合A | 2 | | | 2 | | |
| | 総合B | 2 | | | 2 | | |
| | 総合C | 2 | | | 2 | | |
| | 総合D | 2 | | | 2 | | |
| | 総合E | 2 | | | 2 | | |
| 学校定数 | 学年別単位数 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 単位集合計 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 学年別単位数 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 単位集合計 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 学年別単位数 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |

2年次で日本史または地理を選択した者は、3年次で同一科目を選択する。また、世界史を選択した者は、日本史または地理を選択する。

2年次で物理を選択した者は、3年次で同一科目を選択する。また、世界史を選択した者は、日本史または地理を選択する。

2年次で日本史または地理を選択した者は、3年次で同一科目を選択する。

2年次で物理を選択した者は、3年次で同一科目を選択する。また、世界史を選択した者は、日本史または地理を選択する。

（資料2）運営指導委員会の記録

＜第1回＞

- 実施日時 平成27年7月4日（土）16：00～17：00
実施場所 島根県芸術文化センター「グラントワ」
実施概要
1. 学校長挨拶
 2. 出席者紹介
 3. 協議
 - （1）平成26年度SSH事業報告
 - （2）平成27年度SSH事業説明
 4. 指導・助言
 - ・イベントと授業のリンクが必要である。
 - ・アンケートは質的な評価をする。どこが伸びて、どこが伸びなかったのか。

＜第2回＞

- 実施日時 平成27年10月27日（火）10：30～12：00
実施場所 益田高校いわみの記念館
実施概要
1. 学校長挨拶
 2. 協議
 - （1）平成28年度科学技術人材育成重点枠の申請について
 - （2）事業改善に関する協議、指導・助言
 3. 指導・助言
 - ・地域貢献型の大学をもっと利用すると良い。
 - ・思考・判断・表現の大切さを生徒に分からせるために評価し、外へ評価を出す。

＜第3回＞

- 実施日時 平成28年2月13日（土）14：00～15：30
実施場所 益田高校いわみの記念館
実施概要
1. 学校長挨拶
 2. 協議
 - （1）平成27年度活動報告について
 - （2）平成28年度科学技術人材育成重点枠の申請について（報告）
 - （3）平成29年度継続新規申請について
 3. 指導・助言
 - ・小中学生に教えていくだけでなく、地域の方達（企業だけでなく）との交流で高校生のコミュニケーション能力を育成できる。
 - ・高校教員が課題研究の指導で苦勞していると思うので、大学がもっとサポートしていかなければならないと思う。ただ、大学教員が高校教員に指導法を講義で教えるより、大学教員が高校生を指導するところへ高校教員が一緒に入って学ぶほうが良いと思う。
 - ・普及の別の観点として、アウトリーチだけではなく、益田高校が作成した教育課程を普及させていくことも考えたい。